

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 和		
○保護者評価実施期間	2026年1月10日 ～ 2026年2月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	20206年1月10日 ～ 2026年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と小集団での療育を必ず両方を行っている。 (児童一人一人が、安心出来る環境を提供) また、事業所内ででの交流ではなく知らない同年代の子供と関わる事が出来るよう外出なども実施している。	個室にて個別療育を少なくとも30分以上実施している。 小集団活動も30分以上は必ず行っている。 毎月、おやつ作りや外出支援も実施している。	来年度は、イベントも行いたい。
2	保護者勉強会と交流会を毎月実施し、発達とは何か？などを分かりやすくお伝えしている。また、保護者の不安や悩みを聞き、助言を行っている。	必ず連絡ノートにて、写真を添えて個別療育と小集団活動の内容やお子様の様子を出来るだけわかりやすくお伝えしている。	今年度は、保護者のリフレッシュも考慮しヨガ教室も開催できた。今後も、リフレッシュ方法も広げていく。
3	関係機関(保育園・幼稚園・相談支援事業所等)と定期的に集まり、ケア会議を実施している。	出来るだけ通わせている児童全員のケア会議が出来るように日程を調整している。	幼稚園や保育園に通われていない児童に対し、幼稚園や保育園に通うことが出来るよう、児童の成長の支援を行うだけでなく幼稚園や保育園との連携を継続して行う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動ルームのスペースが限られている。	建物の作りのために、柱などがありボール遊びや走り回るなどが出来ない。	雪が積もるまでの期間は、近くの公園の広場を活用しレク等を行ってきました。気温や天気の状態にもよるが、今後も体を思いっきり動かせる機会を増やしていく。
2			
3			